

自民党真政 さいたま市議会議員

井原ゆたか

“次世代への挑戦!!”

井原ゆたか市政レポート vol.8 (発行日) 平成31年3月
(発行) 井原ゆたか事務所 さいたま市中央区下落合 1071-1 MIビル4 3階

活動報告

- 1 総合政策副委員長として提案
- 2 任期4年間の実績
- 3 12月定例会で一般質問
- 4 平成31年度予算案について

●●● ご挨拶 ●●●

2015年4月にさいたま市議会議員に初当選し、まもなく1期4年の任期を終えようとしております。任期を振り返ると、与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランの遂行をはじめ、地元の都市計画から福祉・教育・地域コミュニティなど様々なテーマについて、議会を通じて行政に提案することが出来ました。今年は平成から元号が変わる年でもあり、さいたま市では平成31年度当初予算で初の1兆円を超える予算案が提示されました。また、人口も全市で130万人を超え、政令市として成長を続けております。一方で、さいたま市が出来て18年経過し、今もなおさいたま市役所本庁舎の位置が定まらない状態でもあり、各区において行政サービスや交通インフラの整備にも差が生じているなど、課題も残されております。2020年の先を見据えた次世代に自分が生まれ育ったさいたま市を受け継いでいくため、今後も市政に邁進してまいります。

●●● 井原ゆたかの一期 4 年の実績 ●●●

◎ 与野本町小学校複合施設

住民の立場として計画段階からワークショップに参加し、市内初の複合施設のモデルを作りました。**郷土資料館・子育て支援センター・放課後児童クラブの複合施設が来年に完成します。**



2014 年から計画に携わりました。

◎ 上峰地区へ与野西中学校の選択学区導入

与野本町小学校から全校生徒を与野西中学校へ通わせたいという要望を受け、**2018 年から選択学区を導入**することが出来ました。

◎ 公共施設マネジメントの改正

総床面積 15% 削減という指標に縛られ、単に現状より小さな施設しか作れなくなっていた計画ですが、歳出削減歳入増加の観点から**公民連携を活用した公共施設の在り方を提案**し、収益改善とともに市民サービスの向上も期待できるようになりました。

◎ 与野駅西口・南与野駅西口区画整理の加速化

今年度末で**与野駅西口は 79%、南与野駅西口は 85% に到達**しました。時間がかかる区画整理事業ですが、**与野駅西口は来年度予算を大幅に増額**することが出来ました。**中央区下落合一丁目の地番の早期付与**を目指してまいります。



南与野駅西口は区画整理によって街並みも変わりました。

◎ 大戸公園北・国道 463 号 BP の橋上歩道の設置

新大宮バイパスまでの西伸に先立ち、**2017 年に歩道の先行開通**を提案し、実現しました。

国道 463 号 BP（道場三室線）の西伸はトンネル構造工事もありますので、**2023 年の開通**を目指しています。



歩道だけは早期に開通することが出来ました。

◎ さいたま新都心～浦和美園間にてE Vバス実証実験

2015年の一般質問で提案したことで、オリンピックの会場にもなるさいたまアリーナを有する**新都心地区**と埼玉スタジアムを有する**浦和美園地区**が**次世代バスでつながります**。E Vバスへの急速給電システムの導入も日本初であり、実証実験としての技術の発信も期待されます。



今年より実証実験による運行が開始します

◎ 旧クリーンセンター与野跡地に公園の整備

2015年に提案し、今年には用途地域の変更が決定されるとともに基本計画を作成しました。**来年には公園の整備に着手**できる予定です。



跡地の高台部分を公園として整備する方針です。

◎ 赤山通り・中央通り交差点に右折レーンの設置

中央消防署の移転整備に伴い、赤山通りの新都心方面へ向かう交差点に**右折レーンが新設**されます。朝の右折待ちによる混雑の解消が期待されます。**2021年に消防署を含めて完成予定**です。



隣接する自治会長と連携し、要望書をまとめました。

◎ JR 埼京線の増便および終電の延長を提案

2017年の一般質問で初めて行政へ要請しました。埼京線沿線の住民は急増しているのにも関わらず、埼京線の本数は微増しかしておらず、通勤ラッシュに悩まされる状態は変わりません。引き続きJRにも対応を求めてまいります。

JR 埼京線（上り）の運行本数の推移

【1987.04】(582)		運行							
駅名	通過	快速	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台
与野本町	○	○	0	6	8	9	8	6	6
南与野			0	6	8	8	5	4	4
中浦和			0	6	8	8	4	5	4
武蔵浦和	○	○	0	6	11	11	9	8	6

【2017.11】(429)		運行							
駅名	通過	快速	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台
与野本町	○	○	1	7	10	8	6	5	9
南与野			1	7	10	8	6	5	6
中浦和			0	7	10	8	7	5	6
武蔵浦和	○	○	0	7	13	10	12	9	9

みなさまからのご要望をもとに、
多くの案件に対応しました！



未だに与野本町駅では通勤時間帯でも少ない運行本数です。

●●●12月定例会で一般質問に登壇●●●

1 与野中央公園の魅力を創造

私が議員となって、最大の課題と感じたものが**与野中央公園の整備**でした。30年以上荒れ地の状態で残されており、整備にも着手されない状態でした。議員就任当初に問題提起してから4年間で、着実に前へ進みました。

【現在の進捗】

- ◎公園基盤部分の基本設計に着手
公園内の道路や配管などの設計。
- ◎調整池の基本設計に着手（埼玉県事業）
雨水対策事業の一環として地上式調整池の設計。
通常時は多目的広場としての活用も検討。



南池袋公園（豊島区）

【今後の予定】

現行の“**行政管理**”ではなく“**民間運営**”による**整備手法を提案**しています。現在の与野体育館、下落合プールの移設に伴う“**複合スポーツ施設**”に加え、子どもたちが走り回れる草はら広場や、家族で過ごせる空間、カフェなどの飲食施設の設置も検討しております。

来年には事業者決定！その後、**暫定整備に着手出来る見込みです。**



南池袋公園の事例

公園内に収益施設も作り、民間企業のマネジメントによって、歳出を抑えて魅力を向上させた都市公園のモデル。

2 本町通りのまちづくり

旧鎌倉街道であり、今もなお蔵造りの街並みも散在する道路ですが、歩道は狭く荒れた状態であり、人の往来も少なくなっている道路です。歴史街道を次世代へ引き継ぐためにも**歩道の整備や景観の保全を含むまちづくり**を進める必要があります。

【現在の進捗】

- ◎2018年に本町通りのまちづくり協議会を設立
沿道の住民の方々を中心に意見を集めました。

【今後の予定】

2019 年秋に車道を狭め、歩行空間を西側に確保する実証実験を予定。人の往来を取り戻し、今後のまちづくりを進めます。



本町通りの昔と未来



桜並木がきれいだった本町通り。面影を残し、街道の活性化を目指します。

3 交通インフラの整備

① 西与野地区へのコミュニティバス導入

桜区大久保地区～中央区西与野地区～イオンモール与野・さいたま新都心へのバス or 乗合タクシーの導入を進めています。今まで交通網がなかった住宅地の狭い道路も走れます。(現行の制度の中で、初めての中央区への導入事例になります。)

【今後の予定】

2019 年内にルート決定、2020 年より試験運行を開始。

収支率がよければ正式運行となりますので、ぜひで活用ください！



さいたま市のコミュニティバス。中央区にはまだ走っていない。

② 自転車駐輪場の整備

与野本町駅ロータリーへの一時駐輪場の設置およびさいたま新都心駅西口への地下式機械式駐輪場の導入を求めました。特に、新都心駅西口は駐輪場が極めて少なく、月極駐輪場が借りられない状態です。「自転車のまち」を目指すのであれば、「とめる」場所がないことには自転車利用も出来ません。

【今後の予定】

【与野本町駅】

与野本町マスタープランの中で、自転車駐輪場も検討に加えます。

【さいたま新都心駅】

機械式駐輪場の設置を目指し、場所も含め検討を進めます

さいたま新都心駅西口には市営駐輪場約30台の増設が決定！

※さいたまアリーナの南西部です。



機械式駐輪場の一例

4 認可保育園の課題改善

① 紙おむつの園内廃棄

認可外保育園や一部の認可保育園ではすでに実施されておりますが、未だに紙おむつの家庭への持ち帰りを行わせている保育園もあります。衛生面の上でも、保育サービスの面でも、**紙おむつの園内廃棄の義務化を提案**しました。

【今後の予定】

保育施設整備の必要になるので、**2020年から段階的な実施**を検討します。

都内においては完全義務化している自治体もあるので、早期対応を求めました。

② 保育士の処遇改善

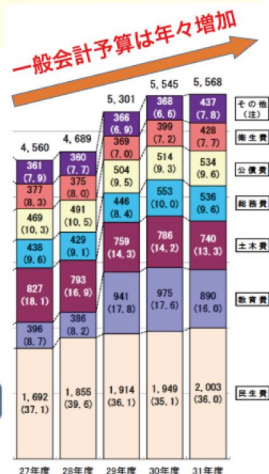
首都圏においては待機児童解消に向けて保育施設を急増しているため、保育士が不足する課題が出ています。その中で質の高い保育環境を確保するには、**働く保育士の処遇を改善**すべきと要望しました。

【今後の予定】

市単独で給与の上乗せ補助や家賃補助の実施に加え、**新卒保育士に対する補助の拡充**や、**東日本連携を活用したプロモーション活動**も行っていきます。保育士の皆様がさいたま市に住み続け、長く働ける環境づくりを目指します。

●●● 平成31年度予算案についての議論 ●●●

2月定例会の予算委員会にて、来年度予算を議論。当初予算で1兆円を超える過去最高の予算案が提示されました。なお**さいたまクリテリウム**に関しては、議会から**予算縮減の修正案も提出**されました。



一般会計	5,568億円	(前年度比 +23億円 +0.4%)
特別会計	3,118億円	(前年度比 +31億円 +1.0%)
企業会計	1,380億円	(前年度比 +74億円 +5.7%)
全会計	1兆66億円	(前年度比 +128億円 +1.3%)

全会計予算総額は1兆66億円となり、さいたま市誕生以来、最大の予算規模

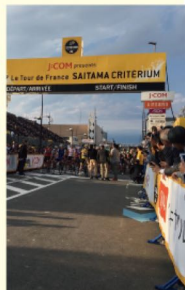


市税 2,723億円 (前年度比 +119億円 +4.6%)

個人所得、企業収益の増加、人口流入による人口増もあり、市税収入も増加しています。

① 大規模イベントに多額の予算（総額約 10 億円）

さいたまクリテリウム（2.2 億円）、さいたま国際マラソン（2.5 億円）、国際芸術祭（3.2 億円）が単体でも計上されており、**関連予算を含めると約 10 億円**が見込まれます。一方で、イベントに税金を投入する理由、公益性に関しても不明瞭でした。また、**3 年前の議会では、クリテリウムの民間移行を議決**したのにも関わらず、結果としては**新たな外郭団体へ移行**することになりました。



集中審議を行い、予算修正案を提出。
市長には引き続き予算執行の縮減と
民営化の促進を求めました。



自転車レースが 6 年間行われ、
20 億円以上の税金が使われました。

② 中学校特別教室への空調機設置

国の補正予算に伴い、**特別教室にも空調機を設置**することが決まりました。昨夏の猛暑の際に、私も教育委員会へと空調機の設置を要望しましたが、**小学校への設置**も引き続き要望してまいります。

③ 私立幼稚園等の預かり保育促進・放課後児童クラブの充実

「子育て支援型幼稚園」における預かり保育利用料の一部を助成します。また、放課後児童クラブの待機児童解消に向けて、**20 ヶ所の民設クラブ開設経費を一部助成**します。私も現在 1 歳半の息子がおり、子育て世代として教育・保育問題に取り組んでいきます。



母校の淑徳与野幼稚園。
幼稚園の預かり保育支援も行います。

④ 保健センターの中央区役所別館への移転

2020 年に向けて保健センターが中央区役所別館に移転します。今まで保健センターが離れていたことから、手続きも別々に行う必要がありましたが、今後は中央区役所で一元化して行うことが出来ます。なお、現在の保健センターの場所で行き続き休日・夜間診療などは行われます。

⑤ さいたま市役所本庁舎整備の検討

さいたま新都心駅周辺 800m 以内が望ましいという答申結果から、本庁舎の候補地を調査する予定です。**本庁舎の位置はさいたま市合併以来の大きな政治課題**であり、位置が決まらないと大局的なまちづくり計画にも支障をきたすので、極めて重要です。



那覇市役所も本庁舎の建て替えの事例。
市のシンボルが本庁舎といえます。

●●● 総合政策委員会副委員長として提案を ●●●

民間企業で働いていた経験を活かし、行政のムダを省き、歳出削減歳入増加という観点から様々な提言を行いました！

1 公民連携事業の導入

公園や区役所など、市内で優れた立地の公共用地では、民間としても収益を産み出す施設を運営することも出来ます。また、従来の公共サービスの提供を民間のノウハウを活用することで効率的に行うことも可能です。そして民間が得た収益の一部を行政の管理費に還元し、歳出の削減を図ることが“**公民連携事業**”になります。

すでに他市でも導入事例がある中で、さいたま市ではまだ事例がなく、速やかな導入を求めました。**地元の与野中央公園や中央区役所改修にも適用**を目指します。

2 ホテル誘致と MICE の議論

(※MICE：集客効果の大きいビジネスイベントおよびその核となる会場の施設群)

さいたま市の宿泊施設は **2015 年の時点では 2500 室以下**であり、稼働率は 85% を越えており、明らかに足りない状態であることを指摘しました。宿泊施設は、街において人の滞留と経済効果を生み出す上では大変重要です。結果として、オリンピック目前の **2020 年に 4000 室以上へと増加**する予定となりました。また、さいたまスーパーアリーナは、イベント・コンベンション施設として非常に優れておりますことから、**さいたま新都心を核とした MICE の構築**を提案しました。

さいたま市	2347
盛岡市	4537
仙台市	14816
秋田市	4183
新潟市	6795
金沢市	8203
長野市	4934
宇都宮市	3595

東日本の主要市の宿泊施設数 (2015 年)

井原 ゆたか プロフィール ● 1983 年 1 月 13 日さいたま市生まれ (36 歳)

淑徳与野幼稚園 卒園	東京大学大学院理学系研究科博士課程修了
与野本町小学校 卒業	2010 年 東芝ソリューション株式会社 入社
麻布中学校・高等学校 卒業	2013 年 トヨタ自動車株式会社 入社 (出向)
東京大学理学部天文学科 卒業	2015 年 さいたま市議会議員 当選



井原ゆたか事務所

〒338-0002 さいたま市中央区下落合1071-1MIビル4 3階

Tel : 050-3418-7058
Fax : 050-3588-4018
Mail : contact@yutakaihara.jp

井原ゆたか 公式 HP

<http://www.yutakaihara.jp/>